

2022 年度ワーキンググループ活動計画書

(2022 年 6 月～2023 年 5 月)

2022 年 6 月 1 日

1 ワーキンググループ活動計画

☆ クラウドプライバシー WG

(1) ワーキンググループの目的

クラウド環境におけるプライバシーおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。CSA 本部では、PLA(Privacy Level Agreement)を公開し、EU データ保護指令や一般データ保護規則 (GDPR) に基づいて、クラウド上でプライバシー・データをどのように保護し取り扱うかに対するガイドラインを示している。また、日本においては、改正個人情報保護法が 2017 年 5 月 30 日に施行され、これに基づいて個人情報をクラウド上でどのように保護し取り扱うに関する指針が必要となっている。このような状況において、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていくことを目的とする。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動計画
 - CoC_JP Ver1.1 を作成し、公開する。

☆ CCM/STAR ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA ジャパンとして、米国 CSA 本部が公開した CCM (Cloud Control Matrix)に独自の検討を加え、「日本版 FedRAMP」と呼ばれる「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)」とのマッピングを行い、日本政府が求めるクラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保と評価に貢献することを目的とする。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- CCM_v4.0.5 と ISMAP_v2022 とのマッピングに、CSA ジャパン独自の検討を加え、作成し、公開する。
- CSA 本部が公開した CAIQ-Lite4.0 を翻訳する。
- 2020 年 4 月に WG 活動として方針確定したリバースマッピングをする。リソースが課題。

CSA STAR サブワーキンググループ

(1) サブワーキンググループの目的

STAR 認定のコアとなる文書の日本語版の提供と日本国内のクラウドプロバイダー、クラウド利用者による STAR 認証取得の支援を行う。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 日本語案資料の提供
 - CSA STAR 認証の取得や審査にキーとなる文書の日本語版を提供する。

- STAR 認証取得希望国内企業への登録支援
STAR Lv1 取得問い合わせ企業、組織に対する QA の提供。
個別に資料提供をする予定はないが、問い合わせの内容については FAQ としてまとめ CSAJ の公式サイトにて情報を提供する。

(3) その他

- 現時点で詳細な内容までは詰められていないが、STAR の普及に向けた以下の活動を今期中の活動として随時計画、実施する
 - STAR 認証 lv1 普及に向けた紹介資料の作成
 - STAR 認証関連ページの日本語版の提供

◇ CASB ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

IaaS/PaaS/SaaS のクラウド利用増加に伴い、クラウドアクセスの制御、可視化、クラウド環境設定の監査とガバナンスの強化、脆弱性の管理や、最近顕在化している SaaS の設定ミスによる情報漏洩などの様々な課題が増えてきています。この WG ではこれら課題解決を目指すために、クラウドセキュリティを学び、情報を交換し、できるだけそれらを分かりやすく外部に発信していくことを目的とします。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動計画
 - 月 1 回程度の定例会による情報交換、活動共有
 - SaaS 運用状況把握のためのアンケート取得
 - 関連ブログの作成
- その他
 - WG 名の変更も検討中 (US 側と合わせて SaaS Governance などを検討)

◇ IoT クラウドサービスワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

IoT (もしくは M2M)、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- IoT Controls Matrix v3、Guide to the CSA IoT Controls Matrix v3 の日本語版公開
- WG 内勉強会の実施
 - IoT Controls Matrix v2 輪講の継続
 - クラウドプロバイダが提供する IoT サービスの調査
- IoT の使われ方、ユースケース (医療、スマートシティーなど) の調査・検討
 - オージス総研、LAC TOWN あたりのソリューションを検討
 - その他、IoT ユースケースの検討
- CSA が今後公開してくる資料の翻訳・公開

◇ 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Health

Information Management Working Group の活動に準拠して、患者／生活者中心の視点から、健康医療分野のクラウド利用に係るセキュリティ／プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、エンドユーザー向けのクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) **2022 年度活動計画／目標**

➤ **国内活動**

- ライフサイエンス／医薬品／医療機器産業、医療機関／介護施設／健康増進サービス事業者、患者／消費者を含む健康医療情報バリューチェーン全体における CSA ガイダンス、CCM、STAR 認証、医療機器／遠隔医療セキュリティガイダンス、IoT セキュリティガイダンス、アプリケーションコンテナ／マイクロサービス／サーバーレス・ガイダンス等の有効活用の推進活動
- CSA のワーキンググループが主導する CSA ガイダンス、CCM およびその他発行文書類（例、IoT セキュリティガイダンス）に関する、業界の視点に立ったピアレビューの実施およびフィードバックの提供
- 健康医療情報に関わる国内外の主要なステークホルダーコミュニティ（例、フォーカスグループ、業界団体、研究機関、フォーラム、学術団体など）との積極的な協業活動
- 上記に関する周知、認知、研究の機会を計画／実行するために、関西支部との連携を強化する

➤ **グローバル活動**

- CSA HIM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
- CSA 海外チャプターとの連携活動強化（例：中国、東南アジア、インド、EMEA）

➤ **関西支部との連携強化活動**

～関西ヘルスケア業界&製造業界におけるクラウドセキュリティ啓発活動

- 昨年度に引き続き、CSA Health Information Management WG の成果物を活用した紹介ブログと勉強会の連載企画を展開する

◇ **クラウドセキュリティワーキンググループ**

(1) **ワーキンググループの目的**

クラウドセキュリティ WG は、特定の領域に捉われずに現場視点で現場が活用できる事項を題材とし、世に有効に活用できる情報を発信する。

(2) **2022 年度活動計画／目標**

- “クラウド重大セキュリティ脅威対策 -DevSecOps のユースケース-”に関するセミナー開催、ブログ公開。
- ”(仮)グローバルクラウドのセキュリティアーキテクチャレビュー虎の巻”の公開、セミナー開催、ブログ公開。
- “Secure DevOps and Misconfigurations” 翻訳版の公開。

◇ **SDP ワーキンググループ**

(1) **ワーキンググループの目的**

SDP ワーキンググループは、日本における SDP の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用について幅広く議論し情報提供を行う。

(2) **2022 年度活動計画／目標**

- **SDP ラボ**
 - ラボ環境を利用した SDP の紹介、利用環境の提供

- CSA 本部の SDP&ZeroTrust WG と、SDP オープンソースについてのコラボを実施
- **Authenticate Before Connect Consortium “ABCC”**（接続前認証推進協議会）
 - 設立に向けてのリサーチの実施
- ゼロトラスト・トレーニングの日本展開の検討
- CSA 本部が、今後公開してくる公開資料の日本語版提供

☆ DevSecOps/サーバーレス・ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

DevSecOps/サーバーレスワーキンググループは、グローバルレベルで、アプリケーションコンテナ、マイクロサービス、サーバーレスのセキュリティに関する基本的な調査研究を行い、セキュアなアプリケーションコンテナ/マイクロサービス/サーバーレス利用のためのガイドンスやベストプラクティスを発行するとともに、日本国内レベルでは、クラウドサービスのユーザー/コンシューマー向けに、アプリケーションコンテナ/マイクロサービス/サーバーレスのセキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。

(2) 2022 年度活動計画/目標

- **国内活動**
 - 本ワーキンググループは、日本クラウドセキュリティアライアンスのインディビジュアル/コーポレート/アフィリエイトメンバーからのボランティアによって構成される。
 - 本ワーキンググループは、運営委員会の下で、主要なプロジェクトマネジメント、オンラインワークプレイス、テクニカルライティング支援、日本クラウドセキュリティアライアンス理事会への報告をコーディネートする。
 - これらに関連する周知、認知、研究の機会を計画/実行するために、関西支部や、他の WG、各種団体・メディアとの連携活動を強化する。
- **グローバル活動**
 - CSA DevSecOps WG（旧 Application Containers & Microservices WG）および Serverless WG のグローバル活動への積極的コミットメント
 - Health Information Management WG、IoT WG、Financial Services Stakeholder Platform 等、コンテナ/マイクロサービス/サーバーレスアーキテクチャを共通基盤とする他の WG との連携活動強化
 - CSA 海外チャプターとの連携活動強化（例：中国、東南アジア、インド、EMEA）
- **その他**
 - オンライン中心の活動から、オンライン/オフラインのハイブリッド型活動に移行するための会場やコミュニケーションツールの準備が必要

☆ 翻訳ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

翻訳ワーキンググループ（翻訳 WG）は、CSA 本部が公開する様々な資料の日本語翻訳をドライブするとともに、CSA ジャパンの翻訳プロセスそのものを改善していくことを目的とし以下の活動を行う。

- 翻訳作業のドライブ

CSA 本部が公開する資料のうち、どの資料を翻訳するかを決定
翻訳を行うにあたって、CSA ジャパン会員よりボランティアを募集
翻訳作業、スケジュール管理、翻訳版公開の一連の作業をドライブ

- 翻訳プロセスの改善

機械翻訳機能の利用の検討

翻訳差分機能の利用の検討（英語版の前のバージョンからの変更と翻訳の変更を管理できるツール）

訳語集の作成

既存翻訳資料の見直し（各WGとの連携あり）

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 2021 年度からの継続作業の完了

- セキュリティガイダンス V4 の見直し

- 未和訳 CSA 文書から選択した文書の和訳

- ツール等の環境整備

(2) その他

- 現在、Memsorce ツールは最小限のライセンスにて運用しているため、翻訳チームメンバー全員がツールにアクセスできる、中間的に Word や Excel にダウンロードして個人別に作業し、その後、翻訳データを集約するという工程が発生している。Memsorce 等ツールの使用実績や成果を事務局で評価いただいたうえで、翻訳チーム参加者数上限を定め、当該参加者全員が Memsorce ツール上で直接に文書和訳編集作業を実施できるようにするための、サブスクリプションライセンス数の拡大費用の支援を検討いただきたい。

☆ ガイダンス WG

(1) ワーキンググループの目的

ガイダンスワーキンググループは、CSA ジャパンが提供しているガイダンスの翻訳版を用いてクラウドセキュリティについて学ぶとともに、現ガイダンスの翻訳および訳語のレビューを行い、次期バージョンの翻訳品質の改善に向け幅広く議論し情報提供を行う。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動計画

- 活動休止

☆ SLA-Innovation WG

(1) ワーキンググループの目的

CSAJC SLA イノベーションワーキンググループは、CSA EMEA の SLA-Ready および関連する地域連携活動に準拠して、標準化と透明性の視点から、クラウドセキュリティの SLA (Service Level Agreement) に関する基本的な調査研究を行い、潜在力のある中小企業・小規模事業者や地域のイノベーションコミュニティ向けに、クラウドサービス利用時のセキュリティ／プライバシー保護に関する啓発活動を推進することを目的とする。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

◇ Blockchain ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

Blockchain ワーキンググループでは、Blockchain についてクラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準の観点から研究を行う。2017 年 1 月 17 日にスタート。

1. クラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準を研究し、ガイドラインとして取り纏め、公表する。
2. CSA 本部の BlockChain/Distributed Ledger WG (※以下、Blockchain WG) 及び Internet of Things WG (※以下、IoT WG) と協調して活動する。両 WG からの情報をもとに、日本への情報提供を行う。
3. ベンダー主導のブロックチェーン／分散台帳の研究成果を CSA 本部の BlockChain WG に提案していく。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

◇ ビッグデータユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC ビッグデータユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Big Data Working Group の活動に準拠して、データ中心の視点から、エンドユーザー向けに、ビッグデータにおけるセキュリティ／プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、ビッグデータ環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

◇ モバイルユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC モバイルユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Mobile Working Group の活動に準じて、クラウド中心の視点から、エンドユーザー向けにセキュアなモバイルデバイスコンピューティングを支援するための基本的な調査研究を提供し、モバイル環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

◇ ICS ワーキンググループ (CSA 本部 WG)

(1) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

◇ SDN ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDN ワーキンググループは、SDN を技術的に解説し、SDN のクラウドへの利用方法および優位性を解説し、ガイダンスでは理解しきれない点をカバーしていくことで、ガイダンスに関する SDN の解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動計画
活動休止

☆ データセキュリティ ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、プロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティ WG では、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指す。

(2) 2022 年度活動計画／目標

- 活動休止

以上